

マーケットの動き (2022年1月24日～1月28日)

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は小幅高となりましたが、その後は米国の金融政策に対する不透明感に加え、ウクライナ情勢が緊迫化したことからリスクオフ姿勢が強まりました。週の半ば以降は、26日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）後の会見におけるパウエル議長の発言が、金融引き締めに積極的と受け取られ売りが膨らみました。週末にかけて反発したものの、週を通じては下落となりました。

投資環境見通し (2022年1月)

国内株式相場は企業業績の改善に支えられ、緩やかに上昇

新型コロナウイルス「オミクロン型」の感染拡大に加え、各国中央銀行の金融政策正常化に向けた動き、現政権の金融市場に対する政策への不透明感が、国内株式相場の懸念材料とみられます。一方で、足元では新型コロナウイルスに関して、経口治療薬の普及が期待されるほか、「オミクロン型」の重症化リスクに対する解明が進んでいます。また、部材供給制約が最悪期を脱しつつあり生産活動は緩やかな改善基調が見込まれること、国内消費は緩やかに改善するとみられることに加え、中国景気の底入れもあり、企業業績は改善基調を維持できるとみえています。国内株式相場は悪材料についてはすでに相当程度織り込み済みとみられることから、今後は企業業績の改善に支えられ、緩やかに上昇すると予想しています。

	1月28日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,876.89	▲2.61%	▲6.39%	▲2.23%	2.07%
日経平均株価	26,717.34	▲2.92%	▲8.09%	▲3.13%	▲5.25%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

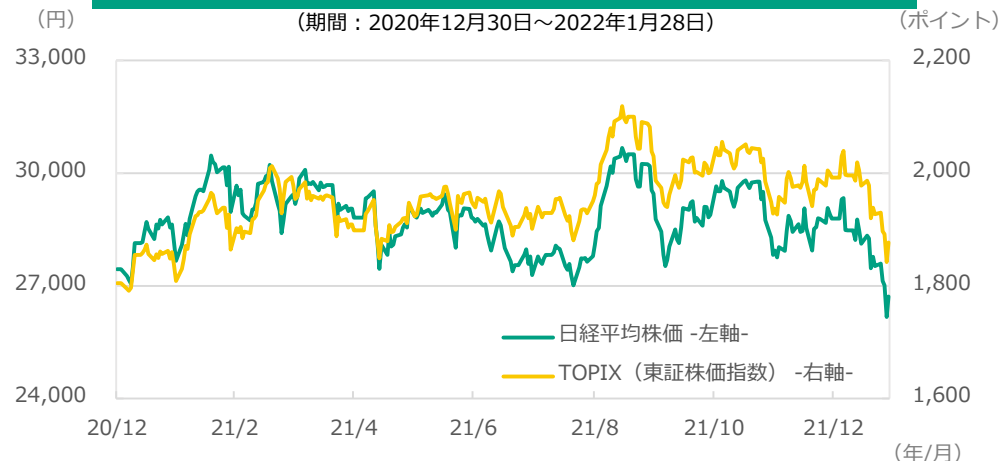
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202201_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

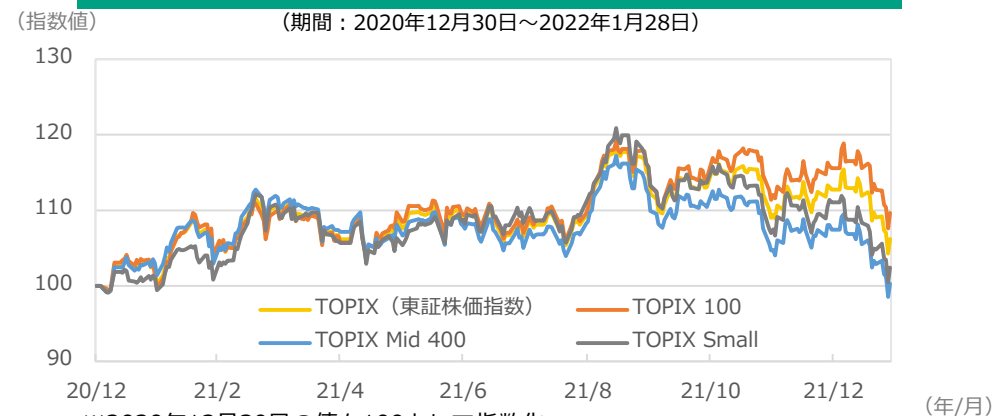
日経平均株価、TOPIXの推移

(期間：2020年12月30日～2022年1月28日)



TOPIX規模別指数の推移

(期間：2020年12月30日～2022年1月28日)



※2020年12月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成